

27年度第1回建築サロン

「工業高校学科再編と建築科の在り方について」

～ 石見地方の産業振興と教育環境の将来は ～

新聞報道によりますと江津工業高校は28年度より3学科から2学科体制となり、建築科は「建築・電気科」として、科内に建築コースが設置されるようです。

かつては「川といで湯と緑の工都」をキャッチフレーズにし、山陰随一の工都建設を目指してきた江津市。その象徴的存在でもありました江津工業高校には、石見地方一円から生徒が集まり、江津市と日本の産業振興を支え続けてきました。

来春より2学科体制となることで統廃合の対象校となり、将来的な学校の存続さえも危惧されるとの声も聞かれます。

今回の建築サロンは、これまで数多くの建築技術者を排出し、今後も多様なニーズに対応しながらの発展することを期待していた建築科の在り方を中心に、人口減少対策や石見地方の産業振興と工業高校の役割といった幅広い視点を持ちながら課題の共有を図りたいと思います。

○日 時：11月28日（土）13:30～15:00

○場 所：江津市総合市民センター2階会議室

○内 容：パネルディスカッション

・コーディネーター

島根県建築士会江津支部常務理事 尾川隆康氏

・パネラー

江津工業高校建築科学科主任 難波富治夫氏

島根県議会議員 山本 誉氏

NPO でごねっと石見理事長 横田 学氏

ポリテク島根住居環境科講師 菊池 観吾氏

江工会（工業高校同窓会）会長 土井正人氏

○主 催：島根県建築士会江津支部